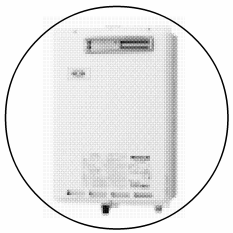
屋外設置形

ガスふろがま 取扱説明書

保証書付

型　番	１３１－Ｔ９００型
型式名	ＧＦ－１２２ＡＷ



このたびはガスふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
保証書の内容をよくお読みいただき、保証期間・保証内容などをご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型番・製造年月をお知らせください。

もくじ

お使いいただく前に

	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	1
この取扱説明書の表示について	1
機器本体の表示について	1
必ずお守りください	1
各部の名称とはたらき	6
機器本体	6
浴室リモコン	6
浴槽	7

使い方

ご利用前の準備	7
機器の準備	7
浴室リモコンを「入」にする	7
おふろを沸かすには	8
ふろ温度の設定	8
保温時間の設定	8
おふろ沸かしを行う	9
保温を行う	10
沸かし直しをするには	10
ぬるくなったお湯を熱くするには(追いだき)	11
追いだきを行う	11

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには	12
凍結予防装置による方法（通常の寒さ）	12
機器内の水を抜く方法	12
再使用するときは	12
故障かな？と思ったら	14
浴室リモコンのアラーム表示	14
点検のポイント・お手入れのしかた	15
点検のポイント（月1回程度）	15
定期点検のおすすめ（有料）	15
お手入れのしかた（月1回程度）	15
仕様一覧	16
アフターサービスについて	17
保証書	裏表紙

大阪ガス

保　証　書

お買い上げいただきました商品につきまして、本保証書記載の内容により保証させていただきます。
本書はお買い上げ店、お買い上げ日が記載されている保証登録カードまたは領収証等とともに大切に保管してください。

商品名	ガスふろがま	型番	131-T900 型

1．保証期間
　保証期間は、お買い上げの日から1年間です。お買い上げ日については保証登録カードまたは領収証等をご確認ください。

2．保証の内容
　取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げ店もしくは当社代理店が無料修理させていただきます。
　なお、無料修理できない場合の免責事項を記載しておりますのでご確認ください。

3．保証の範囲
　保証は機器本体を対象とします。乾電池等の消耗品は、保証の対象ではありません。

4．補修用部品の保有期間と有料修理について
　当社は、当商品製造中止後6年を基準に補修用性能部品を調達したうえ、修理によって性能が維持できる場合はお買い上げ店もしくは当社代理店が有料で修理いたします。
　但し、当商品製造中止後6年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

5．免責事項
　つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(1)　ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
(2)　お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(3)　火災、塩害、地震、風水害、落雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流・電圧・周波数・電磁波、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入、その他天変地異または戦争、暴動等破壊行為による故障および損傷。
(4)　水道管の錆など異物の流入による故障および損傷。
(5)　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
(6)　音、振動、塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
(7)　商品に同梱の工事説明書および取扱説明書等に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障および損傷。
(8)　業務用の場所（喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等）で長時間ご使用になられた場合。
(9)　商品に表示している以外のガスでご使用になられた場合。
(10)　温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
(11)　本書および保証登録カードまたは領収証等のご提示がない場合。
(12)　保証登録カードまたは領収証等にお買い上げ店、お買い上げ日の記入のない場合、あるいはお買い上げ店の訂正印なしで、本書または保証登録カード、領収証等の字句を書きかえられた場合。
(13)　ご使用場所が当社のガス供給区域外の場合。（出張料のみ別途頂きます。）

裏面もご覧下さい。

サービス履歴

年月日	サービスメモ	担当者

09L011

製品の特長

●浴槽のお湯は内蔵のポンプによって循環してほぼ均一に沸き上げるため、上下の温度差が少なくなります。
●沸き上がりから保温設定時間内は浴槽の湯温を約15～30分ごとに検知し、設定温度より下がっていたら、自動的にあたためます。（→P. 10 参照）
●スイッチを押すだけの簡単操作でぬるくなったお湯を熱くすることができます。（→P. 11 参照）
●冬期、気温が下がると自動的に作動し、機器本体の凍結を予防するヒータが組み込まれています。（→P. 12 参照）

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について　この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠危 険　この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警 告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

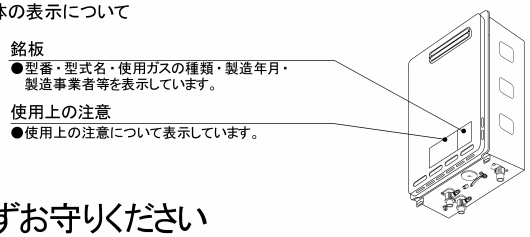
⚠注 意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については次のような意味があります。

お願い　ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

（→P. XX参照）　参照ページを示しています。

■機器本体の表示について



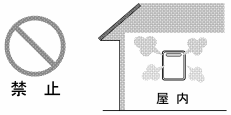
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠危 険

屋内設置の禁止

●この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒の原因になります。



必ずお守りください

⚠危 険

ガス漏れ時の処置

●ガス漏れに気づいたときは、
①すぐに機器の使用をやめて、ガス栓を閉じる。またメーターのガス栓も閉じる。
②お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスに連絡する。

●すべての処置が終わるまでの間、絶対に
・火をつけない
・電気器具のスイッチの入・切をしない
・電源プラグの抜き差しをしない
・周辺の電話を使用しない
炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

⚠警 告

機器設置および付帯工事

●機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。
設置工事に不備があると事故の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

●設置後、機器や排気口を波板やビニールシートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

●給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

●この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要です。機器の設置、移動、取り外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご依頼ください。

機器本体に無理な力を加えない

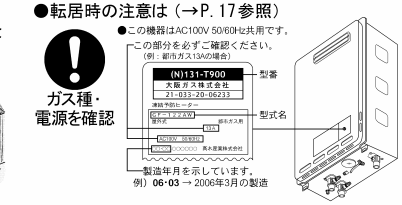
●機器の本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形などによるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

お子様には十分な注意を

●浴槽の循環口付近でお湯（水）に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながることがあります。
●おふろを沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながることがあります。

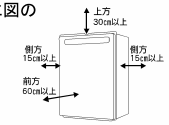
機器の銘板を確認

●機器の銘板（機器前面に貼付）に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火によるやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
●転居時の注意は （→P. 17 参照）

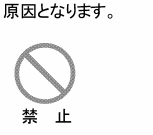


火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
●機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
●機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
●排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



必ずお守りください

⚠警 告

地震・火事などの緊急時の場合
●迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

異常時の処置について
①使用途中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
②「故障かな?と思ったら」（→P. 14参照）に従って処置をする。
③上記の処置をしても直らない場合、または使用中に異常な燃焼や臭気、異常音を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへ連絡する。

ガス栓を閉じる

分解禁止
●お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。

分解禁止

やけどに注意
●機器の使用中、または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。

接触禁止

入浴時の注意
●浴槽に入るときは、手で湯温を確認して入浴する。また、浴槽内のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。
●おふろ沸かし（沸かし直し）や追いだき時には、循環口付近が熱くなっていることがあるので注意する。

⚠注 意

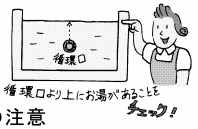
電気事故防止
●電源コードを切断して延長はしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や発火の原因になります。
●電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。
●濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。

禁 止

●電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。電源プラグのほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
●コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因になります。
●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。
●この機器は接地工事（アース）が必要なので、アースがされているか確認する。

アースを接続する

空だき防止
●保温スイッチ・追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に、水（湯）が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となることがあります。



用途についての注意
●一般家庭でのおふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながることがあります。
●車両・船舶への搭載はしない。
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。

長期間使用しない場合
●長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

配管カバーについての注意
●配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかり閉める。
（→P. 15参照）

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について
●事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
●市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

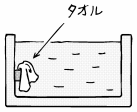
浴室リモコンの扱いについて
●浴室リモコンは分解しないでください。誤動作や故障の原因となります。
●浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
●浴室リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

分解禁止

禁 止

入浴時の注意
●循環口フィルターを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
●浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

禁 止



ガス事故防止のために
●使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを浴室リモコンの燃焼ランプで確認してください。

電源プラグを抜かない
●お手入れの際や長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は、電源プラグを抜かないでください。

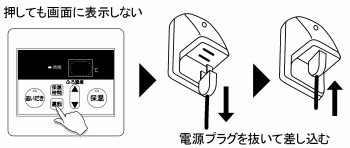
乾電池に関する注意
●機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。もし、お客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

長期間使用しないときは
●「機器内の水を抜く方法」（→P. 12参照）に従って、水抜きを行ってください。
おこたると冬期に凍結する場合があります。

雷が発生しているときの注意
●雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

電源プラグを抜く

雷が鳴ったあと機器が作動しないとき
●落雷の際に、機器内の漏電スイッチが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



凍結についての注意
●凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」（→P. 12参照）に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき
●凍結したままでは絶対に使用しないでください。
●再使用するときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」（→P. 7参照）の項以下の操作を行ってください。
●機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります。（有料）

停電時または電源プラグを抜いたとき
●この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
●停電または電源プラグをコンセントから抜いた場合は、浴室リモコンの再設定（ふろ温度・保温時間）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
●おふろを沸かしているときに、停電になると、おふろ沸かしが停止します。通電後、「おふろを沸かすには」（→P. 8参照）の項以下の操作を行ってください。

必ずお守りください

お願い

日常の点検・お手入れ

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。（→P. 15, 16参照）
●故障または破損したと思われるときは、使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターがつまると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
●浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。

この機器は一般家庭用です

●業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

入浴剤や洗剤についての注意

●強酸、強アルカリの洗剤および、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確かめ機器への悪影響がないものをご使用ください。
●ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
●薬草やゆず、薬草入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。

禁　止

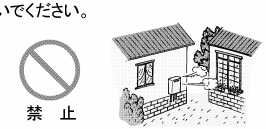
お願い　設置する場所や状況について

設置場所について

●設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼ファン、ポンプ回転音等）で迷惑にならない場所に設置してください。（工事担当者とご相談ください）
●足場などを組んだり、ハシゴ、脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
●塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検修理のためと燃焼不良の発生を防止するためです。

排気ガス

●増改築時には、燃焼排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
●排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。


禁　止

給排気について

●機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

地下水や温泉水、井戸水で使わない

●この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損ない水漏れする場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

ほこり

●砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

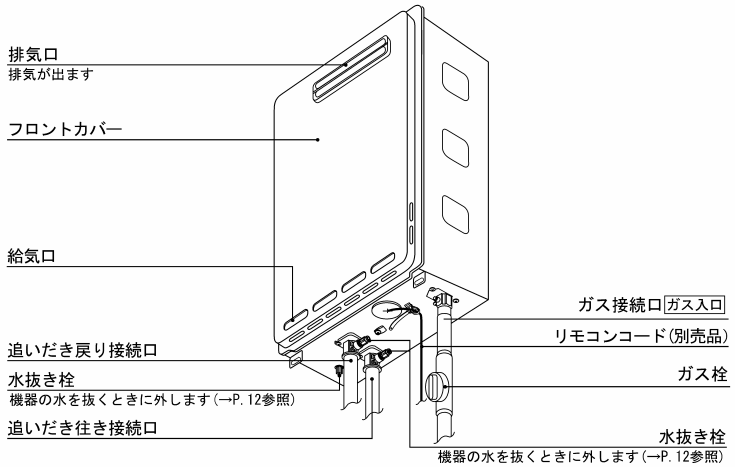
禁　止

塩害

●海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食して、故障の原因になります。

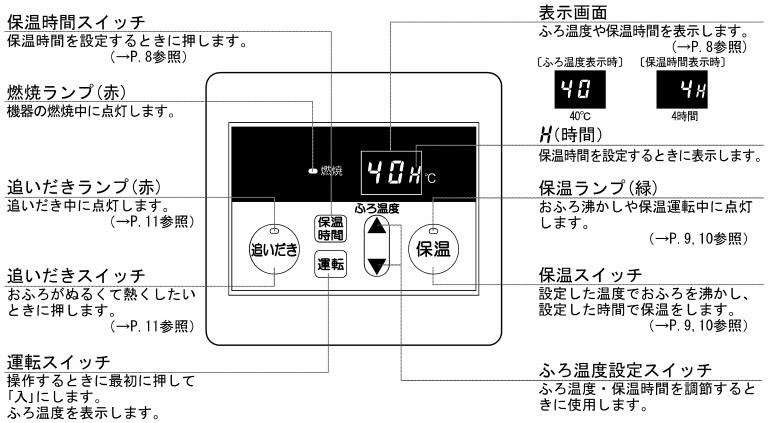
各部の名称とはたらき

■機器本体



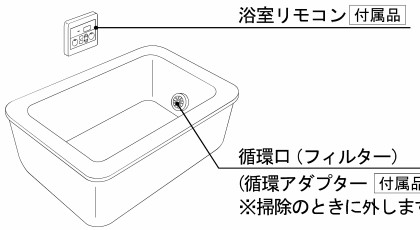
■浴室リモコン

※図のリモコンの表示画面は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



各部の名称とはたらき

■浴槽（別売品）



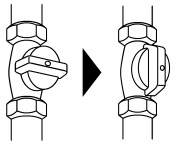
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。準備ができたら、浴室リモコンのスイッチを入れてみましょう。

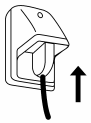
■機器の準備

1 「点検のポイント」（→P. 15参照）の内容に従って、機器や機器周辺の点検・確認を行います。

2 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。
アースが接続されていることも、確認してください。



4 呼び水を行います。
（→P. 13参照）

■浴室リモコンを「入」にする

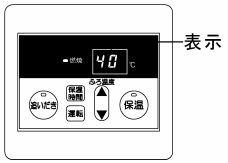
1 浴室リモコンの運転スイッチを押します。
浴室リモコンの表示画面にふろ温度が表示されます。
使わないときは、運転スイッチをもう一度押します。
浴室リモコンが「切」の状態になり、画面表示が消えます。

●工場出荷時のふろ温度は40℃の設定になっています。

おふろを沸かすには

■ふろ温度の設定　沸き上がりの温度を設定します。

1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。
表示されていないときは、運転スイッチを押します。



2 ふろ温度を高くしたいときは▲スイッチを、低くしたいときは▼スイッチを押します。
スイッチを1回押すたびに1℃ずつふろ温度が上下します。
37℃～48℃の範囲（12段階）で設定できます。

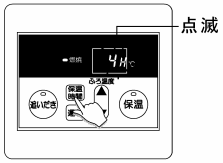
ご使用の目安　（単位:℃）

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるい			標準			あつい					

40：工場出荷時

■保温時間の設定　浴槽のお湯をどのくらいの時間、保温するかを設定します。

1 保温時間スイッチを押します。
保温時間表示が点滅します。



2 保温時間を長くしたいときは▲スイッチを短くしたいときは▼スイッチを押します。
▲ または▼スイッチを、保温時間表示が点滅している間（約10秒間）に押します。

0	1	2	3	4	5	6	7	8

（単位:時間）　4：工場出荷時

※保温しない場合は、“0”に設定してください。

▲・▼スイッチで入力後、しばらくたつとふろ温度表示に戻ります。

ご注意ください
●ふろ温度・保温時間を設定範囲外に設定しようとすると“ピピピピピ”と警告音が鳴ります。

●設定は記憶されるので、次回からはセットする必要がありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電したときは、工場出荷時の設定に戻りますので再セットが必要です。

おふろを沸かすには

■おふろ沸かしを行う　お好みの設定ができたら、おふろを沸かします。

準備

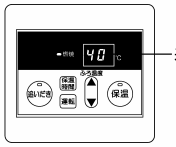
①排水栓をします。

②浴槽へ水をためます。
循環口より上の位置になるようにためます。

③浴槽のふたをします。

1 浴室リモコンが「入」になっていることを確認します。

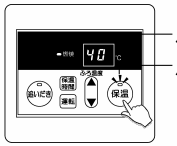
表示されていないときは、運転スイッチを押します。



表示

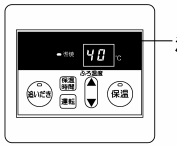
2 保温スイッチを押します。

浴室リモコンの保温ランプ（緑）が点灯します。
しばらくすると、燃焼ランプ（赤）が点灯し、おふろ沸かしが始まります。



点灯
点灯

設定されている温度でおふろが沸き上がります。
燃焼ランプ（赤）が消灯します。
（保温時間を“0H”で設定している場合は、保温ランプ（緑）も消灯します）



消灯

入浴できます。

浴室リモコンは沸き上がり時にチャイムを鳴らすことができます

保温スイッチを押しておふろを沸かした場合、沸き上がり時に「ピロ・ピロ・ピロ・ピロ・・・・」と約10秒間チャイムを鳴らして、おふろが沸いたことをお知らせする“お知らせチャイム”の設定をすることができます。

（設定）保温時間スイッチを10秒押し続けます。“ピッ、ピッ”と鳴り、設定されたことをお知らせします。

（解除）再度保温時間スイッチを10秒押し続けます。“ポッ、ポッ”と鳴り、解除されたことをお知らせします。

※工場出荷時は、チャイムの設定がされていません。

⚠警告 ●入浴の際は念のためよくかきまぜて、湯かげんを手で確かめる。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

⚠注意 ●浴槽へ水をためるときは、必ず循環口より上のお好みの位置までためてください。

ご注意ください
- ●おふろを沸かしているときに、停電になるとおふろ沸かしが停止します。通電後、再度、運転スイッチを押し、保温スイッチを押してください。この際、設定の再セットが必要です。

お願い
- ●浴槽に水をためずにおふろ沸かしを行うと、浴室リモコンに“252”が点滅し、運転が停止します。この場合は、運転スイッチを「切」にし、浴槽に水をためてから再度運転スイッチを「入」にしておふろ沸かしを行ってください。

メモ
- ●保温スイッチを押した後、施工条件によってはすぐに燃焼ランプ（赤）が点灯しない場合がありますが、故障ではありません。

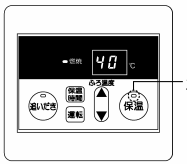
おふろを沸かすには

■保温を行う　おふろ沸かしが終了すると、設定した保温時間で保温をはじめます。

設定した保温時間内で、浴槽の湯温を保ちます。

気温等により、約15～30分の間隔でポンプが回り温度を検知し、温度が下がっていると自動的に設定ふろ温度まで、おふろを沸かして保温します。

設定した保温時間を過ぎると、「保温運転」が停止します。
浴室リモコンの保温ランプ（緑）が消灯します。



消灯

保温時間終了後に続けて保温をしたいときは

保温スイッチを押します。 保温ランプ（緑）が点灯し、設定した保温時間内で保温をはじめます。
※保温時間1H以上の設定が必要です。（→P. 8参照）
※“お知らせチャイム”の設定をしてある場合は、最初の沸き上がり時にチャイムが鳴ります。

保温を途中で停止したいときは

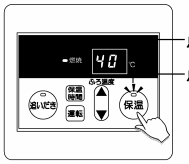
もう一度、保温スイッチを押します。 保温ランプ（緑）が消灯し、保温運転が停止します。
また、保温中におふろ沸かしをしているときに保温スイッチを押すと、 保温ランプ（緑）と燃焼ランプ（赤）が消灯し、保温運転が停止します。

■沸かし直しをするには　残り湯を沸かし直します。

残り湯を沸かし直したいときは、「おふろ沸かしを行う」（→P. 9参照）と同じ手順で行ってください。

1 浴室リモコンの保温スイッチを押します。

浴室リモコンの保温ランプ（緑）が点灯します。
しばらくすると、燃焼ランプ（赤）が点灯し、おふろ沸かしが始まります。



点灯
点灯

⚠警告 ●おふろの沸かし上げ中や保温中は、突然循環口より熱いお湯が出たり、循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意する。やけどのおそれがあります。
- ●入浴時には十分かきまぜて、必ず手で温度を確かめてから入浴する。

メモ
- ●保温中は、燃焼ランプ（赤）が点灯することがあります。
- ●おふろ沸かし後に保温の必要がない場合は、おふろ沸かしを追いだき運転でることもできます。（→P. 11参照）
- ●保温中に運転スイッチを押すと、保温運転が停止します。

使い方

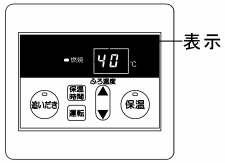
ぬるくなったお湯を熱くするには(追いだき)

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。

■追いだきを行う

1 浴室リモコンが「入」になっている
ことを確認します。

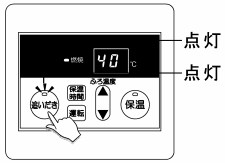
表示されていないときは、運転スイッチを押します。



2 追いだきスイッチを押します。

追いだきランプ(赤)が点灯します。
しばらくして、燃焼ランプ(赤)が点灯します。

運転が終わると、追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が消灯します。



もっと熱くしたいときは

追いだき運転終了後にもう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が点灯し、追いだき運転をはじめます。

追いだきを途中で停止したいときは

追いだき運転中に、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプ(赤)と燃焼ランプ(赤)が消灯し、追いだき運転が停止します。

⚠注意 ●追いだきの操作をするときは、浴槽の循環口より上に湯(水)があることを確認する。

お願い ●表示されているふろ温度と浴槽内の温度は、気温によって異なることがあります。目安としてお使いください。

メモ ●追いだきで停止の操作をしない場合、お湯の温度が設定ふろ温度より低い場合は、設定ふろ温度まで、お湯の温度が設定ふろ温度以上の場合は、現在温度＋2℃まで沸き上げて自動的に停止します。
●一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。お好みの湯かげんになったら、追いだきスイッチを押して停止してください。
●保温中でも追いだきの操作ができます。追いだきが終了すると保温に戻ります。
●追いだきスイッチを押した後、施工条件によってはすぐに燃焼ランプ(赤)が点灯しない場合がありますが、故障ではありません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

●機器が凍結すると、使用できなくなるばかりでなく、水漏れ、故障の原因となります。
●凍結予防は、次のいずれかの方法で行ってください。

■凍結予防装置による方法(通常の寒さ)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと、自動的に浴槽の水(湯)を循環して機器内や追いだき配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温－15℃程度までは、浴槽の残り湯を捨てずに機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。
寒波などで特に寒くなりそうなとき(外気温－１５℃以下)は、機器内の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

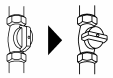
■機器内の水を抜く方法

入居前や長期不在で家のブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この方法で凍結予防します。

⚠注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
●床などに水が流れて不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

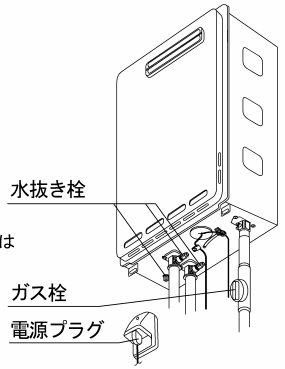
1 浴槽の水を排水します。

2 ガス栓を閉じます。



3 必ず、電源プラグを抜きます。
電源プラグを抜き忘れますと機器の故障の原因となります。

4 水抜き栓を水が出るまでゆるめます。

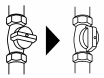


■再使用するときは

機器内の水を排水した後、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

1 水抜き栓を閉じます。

2 ガス栓を開けます。



3 電源プラグを差し込みます。

4 呼び水を行います。(→P.13参照)

⚠注意 ●配管カバーのフロントカバーを外した場合は、作業終了後には、必ず外したカバーをしっかり閉める。(→P.15参照)

お願い ●凍結予防装置は、電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
●凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯を捨てないでください。また、残り湯が循環口の上まであることを確認してください。
●水抜きの操作を行った後は、浴槽に水を入れないでください。
●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じ方が不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●機器内の凍結は予防することができても、追いだき配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

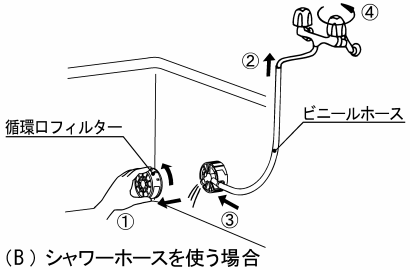
冬期の凍結予防をするには

呼び水のしかた

次のいずれかで行ってください。
(A)ビニールホース（市販品：内径15㎜）を使う場合
(B)シャワーホースを使う場合

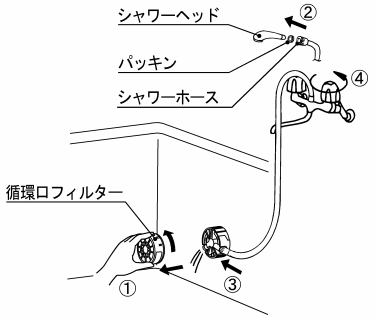
【呼び水とは】
この機器は浴槽の水をポンプで循環させておふろを沸かしますが、水抜きをするとポンプの水がなくなり循環ができなくなります。呼び水とは、ポンプ内に水を入れることをいいます。

（A）ビニールホース（市販品：内径15㎜）を使う場合



①循環口フィルターを外します。
②ビニールホースを水道の蛇口に差し込む。
③もう一方を循環口へ差し込む。
④給水栓をゆっくり開け、循環口から水が流れるまで水を入れる。

（B）シャワーホースを使う場合



①循環口フィルターを外します。
②シャワーヘッドをシャワーホースから外す。
※パッキンをなくさないように注意してください。
③シャワーホースを循環口へ押し付ける。
④給水栓をゆっくり開け、循環口から水が流れるまで水を入れる。

凍結してしまったときは

●凍結した場合、ガス栓を閉じて解凍するまで待ち、一旦水漏れがないことを確認のうえ、ご使用ください。凍結したまま運転操作をしますと機器に異常が生じる場合があります。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●機器や配管が破損しますと、高額の修理代がかかる場合がありますので注意してください。（凍結により破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります）

お願い
●シャワーホースを循環口へ押しつける際、しっかり押しつけないと水が飛散することがありますのでご注意ください。
●呼び水を行った後、シャワーヘッドをシャワーホースに取り付ける際は、パッキンを忘れないようにしてください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここを調べてください	
リモコンの画面に表示が出ない	電源プラグがコンセントに差し込まれていますか	(→P.7参照)
	停電していませんか	(→P.4参照)
リモコンの燃焼ランプが点灯しない	浴槽に水が入っていますか	(→P.9参照)
	ガス栓が全開になっていますか	(→P.7参照)
	ガスメーター（マイコンメーター）がガスを遮断していませんか	
	LPガスの場合、ガスがなくなっていませんか	
	循環口フィルターが詰まっていませんか	(→P.16参照)
おふろ沸かし中や追いだき中に消火した	ガス栓が全開になっていますか	(→P.7参照)
浴槽の水があつい（ぬるい）	ふろ温度のセットは適切ですか	(→P.8参照)
	循環口フィルターが詰まっていませんか	(→P.16参照)

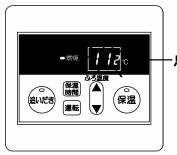
それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

こんなとき	故障ではありません
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が急に熱せられることにより、白く目に見えるような無数の細かい泡となって出てくる現象です。この気泡は汚濁とは違って、まったく無害なものです。また、時間の経過とともに自然に消えます。
浴槽が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
冬期など寒いときポンプが回る	凍結予防のため、自動的にポンプが回ります。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15~30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「保温」「追いだき」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
保温スイッチや追いだきスイッチを押した後、すぐに燃焼ランプが点灯しない	施工条件によっては、すぐに燃焼ランプが点灯しない場合があります。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■浴室リモコンのアラーム表示

●不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示画面にアラーム番号が点滅し、自動的に運転が停止します。
●アラーム番号が点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際は、表示されているアラーム番号もお知らせください。



アラーム番号	内容	処置方法
112	点火不良	ガス栓が全開であることを確認後、リセット操作
122	失火	
252	ふろ水流スイッチ異常	呼び水を行い、リセット操作
312	ふろサーミスタ断線・短絡	
612	燃焼ファンの故障	
702	制御基板異常	リセット操作
722	擬似炎検出	
752	通信異常	
510	元ガス電磁弁故障	ガス栓が全開であることを確認後、「電源プラグの抜き差し」をし、5秒後、運転スイッチを「入」にしてお使いください
512	ふろガス電磁弁故障	
392	燃焼異常検知装置の故障	機器の使用はできますが、なるべく早く修理を依頼してください
102	燃焼異常が発生したため、	
992	燃焼異常検知装置が作動	修理を依頼してください

それでもアラーム番号がでるときは、修理を依頼してください

リセット操作 リモコンの運転スイッチを「切」にし、5 秒後、運転スイッチを「入」にする。

点検のポイント･お手入れのしかた

●安全に正しくお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行ってください。

■点検のポイント（月1回程度）　次の7つのポイントで点検してください。

1 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2 機器および配管からガスの臭気がしませんか?
3 運転中に機器から異常音がしませんか?
4 機器の外観に異常は見られませんか?
5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?
また、整然とされていますか?
機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫（ゴキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
6 浴槽に循環口（フィルター）がついていますか?
7 積雪や屋根から落ちた雪により、給気口・排気口が塞がれていませんか?
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を塞ぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

■定期点検のおすすめ（有料）

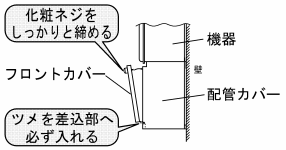
●ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

別売の配管カバーのフロントカバーについて

配管カバーのフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したカバーを元の通り取り付けてください。

①カバー下部のツメを差込部へしっかりと差し込み、外れないことを確認。

②化粧ネジをしっかりと締める。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体および浴室リモコンのお手入れ

●汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って軽く拭き取ってください。
●シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変色・変形する場合があります。

⚠警告 ●機器本体のフロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。

分解禁止

ご注意ください
●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

お願い ●浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

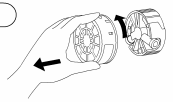
点検のポイント･お手入れのしかた

循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、おふろ沸かしや追いだき運転ができなくなります。

循環口フィルターの外し方

●循環口フィルターを左に回して手前に引きます。



循環口フィルターを掃除する

●歯ブラシなどで洗います。
●掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

お願い ●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないで運転するとポンプ等の故障の原因となります。
●洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

仕様一覧

〔仕様表〕

項目			内容
型番			131-T900型
型式名			GF-122AW
外形寸法(mm)/質量(kg)			幅350×奥行170×高さ520/13
設置方式			屋外壁掛形
点火方式			AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
接続	ガス		15A(R1/2)オネジ
	追いだき往・戻		15A(G1/2)オネジ
電気関係	電源		AC100V(50/60Hz)
	リモコン側		24V以下
	消費電力	無負荷時	3W
		使用時	133W
		凍結予防時	電気ヒータ：46W，ポンプ運転：104W
	電源コード		VCT(2心)機外長2.0m
安全装置			空だき防止装置(水流スイッチ)　過熱防止装置(温度ヒューズ) ファン回転検出装置(回転数検知方式)　漏電安全装置(漏電スイッチ) 立消え安全装置(フレームロッド)　誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 空だき安全装置(ハイリミットスイッチ)　凍結予防ヒータ，ポンプ運転(凍結予防装置)
付属品			取扱説明書(保証書付)、工事説明書、浴室リモコン、循環アダプター等
別売品			浴室リモコンコード等

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}	沸き上がり終了時間(分)　浴槽180ℓの場合			ガス接続
			春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)	
都市ガス	13A	14.0{12,000}	28	17	39	15A (R1/2)
LPガス		14.0{1.00kg/h}	28	17	39	

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
◎沸き上がり時間は実際とは異なる場合がありますので、目安としてお使いください。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」(→P.14参照)の項をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
(1) ご氏名･ご住所･電話番号･道順(付近の目印等)
(2) 型番：131-T900型
ガスの種類：(例)13A
※銘板をご覧ください。(→P.2参照)
(3) 現象（故障または異常内容、アラーム表示などできるだけ詳しく）
(4) 訪問ご希望日

保証について

●取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
●保証書に記載されている保証期間・保証内容などをよくご確認のうえ、大切に保管してください。
●保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
●保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

●この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後６年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

●ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
●増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格、技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
●設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、排気口からの温風や機器本体の運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
●転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

●お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

●長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
(1) ガス栓を閉じます。
(2) 機器の水抜きを行います。(→P.12参照)
(3) 電源プラグを抜きます。

6. お客さまへ
(1) 無料修理やアフターサービスなどについてご不明の場合は、お買い上げ店もしくはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。
(2) 保証登録カードまたは領収証等にお買い上げ店名の記載のないものについては無効となりますので購入時に必ずご確認ください。
(3) 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
(4) ご転居の場合またはご贈答品等で保証登録カードまたは領収証等に記載してあるお買い上げ店に修理がご依頼できない場合には、もよりの大阪ガスへご連絡ください。お問い合わせ先については別添、大阪ガスのお問い合わせ先をご参照願います。
(5) 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
(6) この保証書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

※保証登録カード・領収証等貼付欄
お買い上げ店名・お買い上げ日が記載されている保証登録カード、または領収証とセットして保管してください。

大阪ガス株式会社
大阪市中央区平野町４－１－２
Tel フリーダイヤル ０１２０－０－９４８１７
（お客さまセンター）

お願い　ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、（火気に注意して）大阪ガスに連絡してください。